

書字文化

平成 31 年

4月号

一般社団法人日本書字文化協会
代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3 階
電話 03-6304-8212 FAX 03-6304-8213
E メール info@syobunkyo.org

////////////////////////////////////

◇書文協創設 10 周年記念活動 2

◇コラム「こころ」 大平 恵理 3

◇各事業案内 5

◆本号の事業案内などは、3月末のDMと同一内容となります。

◆府中市・北山幼稚園の毛筆授業保護者参観（3月号掲載）の続編は5月号に掲載します。

書文協創設 10 周年記念活動

～記念日は2020年2月22日です～

- ①硬筆課題検定（新・硬筆検定）の充実
- ②毛筆検定・ライセンスの改訂
- ③「評価の観点」の周知
- ④書文協会員制度の拡充
- ⑤漢字文化圏・中国書法と交流

一般社団法人日本書字文化協会
日に設立されました。来年2月
ます。全ての人のためになる
ており、10周年を機に
します。



（書文協）は平成22年2月22
22日に創設10周年を迎え
よう公共的な運営を心がけ
いろいろな事業を展開

<活動目標> 正しく美しい日本語、伝統文化の継承・発展

<主な事業>

- （ア）書写書道の硬筆・毛筆テキスト・手本の発行
- （イ）検定・指導者ライセンス（資格）試験の実施、段級・資格付与
- （ウ）本部、各地講習会の開催
- （エ）全国書写書道大会（総合大会、伝統文化大会、臨書展）開催
- （オ）付属専修学院（本部教室、青梅教室）運営

い

い

ろ

大平 恵理（書文協会会長）

上手い字とは・・・「評価の観点」学習の成果



年少園児のころからもう8年近く、専修学院の中野本部教室に通っている中1男子がいます。この月刊誌が出るころには2年生になる貴重な書道ボーイです。元気でまじめな子ですが、取り組みはゆったり。2歳下の妹がコンクールで上位の大きな賞に輝き、学校や地元自治体で顕彰（表彰）される一方で、お兄ちゃんの方は目立ちません。

それでも通い続けたのは「続けることが大事だよ」と励まし続けた親御さんの力ですが、なんと中学生になってから彼の力がぐんぐん伸びてきたのです。「うまい、へた」というのではなく、書く字のバランスがよくなって字に自信がみなぎり、字に表情が出てきたのです。「これぞ書文協が求める字」と私はとてもうれしく思っています。「上手いか、下手か」だけで判断することを拒否する私は「評価の観点」表を作り、これに基づく授業をしてきました。彼の成長は、その路線が正しかったことを証明してくれていると思うのです。

「評価の観点」表というのは私が作りました。手書きした字を審査したとき、どこを見られ、評価されるかを50項目にまとめたものです。審査というものはどうしても「上手いか、下手か」だけで見て、あとはブラックボックスになりがちです。50項目は文部科学省の学習指導要領などを参考にまとめました。

硬筆課題検定（通称、新・硬筆検定）のテキスト（15巻シリーズ）では「評価の観点」を活用しました。各巻の課題（各8課題）に即して「評価の観点」をシリーズとして例えば第1巻では①「止め、はね、払い」②「むすび」③「つき方」④「長さ」⑤「むき」⑥「曲がり」⑦「あき」・・・を解説するといった具合です。

彼はこの練習を繰り返し、まず字のバランスが取れるようになりました。そうすると自信が生まれるのか、字にも自信がみなぎってくるのです。そして書いた字に彼らしい味がでてきます。私の目には明らかにそう見えるのです。字を書くことはメンタルな面ととても連動します。書字を科学的に捉える決めてになるのではないかと、これからも研究を進めていくつもりです。

書文協のとりくみ

♪テキスト・手本づくり（この資料で一部紹介）

幼児からシニア向けに、毛筆・硬筆を学ぶためのテキストを編集・制作することが書文協の第一の仕事です。基本から独創まで、書写書道の各段階についての役立つ指導法（メソッド）を世に問うものです。新硬筆検定15巻シリーズをはじめ毛筆・硬筆のテキストを発行。大手出版社から多くの練習帳を刊行しています。また、毛筆・硬筆コンクールの課題手本を多く発行してきました。

♪検定試験・段級付与（この資料で一部紹介）

検定は隔月の偶数月に実施します。段級位は10級から10段まで20段階

♪指導者ライセンス付与

指導者ライセンス（資格）は、人に教える能力を書文協が保証するものです。試験は毎年5、11月実施。初級、中級、上級そして師範の4段階があります。

♪全国書写書道大会 （総合大会、伝統文化大会、臨書展）

夏の総合大会は

「ひらがな・かきかたコンクール」（硬筆、小学3年以下）＝7月末締切

「全国硬筆コンクール」（硬筆、年齢不問）＝9月半ば締切

「学生書写書道展（毛筆、小学生から大学生まで）席書の部、公募の部」

＝席書は夏休み中、公募は9月半ば締切

冬の伝統文化大会は

「全国年賀はがきコンクール」（硬筆）＝1月半ば締切

「学生書き初め展覧会」（毛筆）＝1月半ば締切

春の臨書展は（毛筆、年齢不問）は3月下旬締切

♪本部・各地講習会

本部講習会は毎月のだよかの曜日、硬筆・毛筆の基本から（登録制）。各地講習会は、各地教場の希望内容（検定受験練習、大会課題練習、実力養成など）により開催。本部から講師派遣。



新・硬筆検定 魅力ある新テキスト

～楷・行・草 全てが分かる～

「えんぴつ・ペン文字練習帳」15巻シリーズ

刊行 書・大平恵理 編集発売・書文協出版部
価格 各巻 600 円＋消費税
仕様 B5 判 64 ページ、三部構成

自学自習にも最適

テキストは書文協の硬筆課題検定（通称、新・硬筆検定）のテキストを兼ねますが、自学自習できるよう懇切に作られています。



⑮ 配列
読みやすく書くためには、行に配列よく書くことが大切です。三つのポイントをおさえておきましょう。

【1】文字の大きさと字の間かくを考えます。
【2】一行の半分でおさまりを調節します。

【3】行の上と下をそろえます。

えんぴつで軽く印をつけるとよい。後で消すのを忘れないように。

学校で百人一首大会があります。たくさんさんの和歌を覚えて参加しようと思います。

⑬ 「中心」
主に、文字の縦（たて）の真ん中を中心として考えます。体のせねねのように、文字も中心を通してバランスをとります。

真ん中に縦画が通っている文字は、中心からずれないように、とくに気をつけます。

上 当 歩 歩

文字・言葉に強い学校づくりに一括使用を！

第一部書写の基礎知識、
第二部課題練習編（計 120 課題・各巻 8 課題）、
第三部応用発展編、各巻とも学年相当で編纂されています。中学一年生から 7 巻を始め、学年進行で 12 巻まで全生徒への配布を進めるなどご活用いただいています。
特色づくりにぜひご検討ください。（特別割引制度があります）

課題 2
いろはにへちりぬるを
いろは歌（うた）
課題（かだい）のつづきはつぎのとおりです。
わかたれを つねならむ
うののおくやま けふこえて
あさきゆめみし ゑひもせす
（「ひらがな」らんぷよ）にない「る」と「え」が入った「いろは」をすべて一かだけつけた文です。
るはつかなくならぬ
いはは、ひらがなは文字です。
むかしは、寺子屋（でらこや）という塾（じゆく）で、このいろは歌をなんが（い）も（か）いて文字を歌（うた）へました（いろは）はもの（こと）のさいしよ（さいし）という意味（いみ）もありました。

ち に い ち に い
り ほ ろ り ほ ろ
ぬ へ は ぬ へ は
る と る と
を を

行書について
② 点画（方向・形）の変化
行書の特徴の 2 番目です。「人」のように右払いが一本の斜めになったり、「元」のように上に向かいねが「止」のとなり、次に続いていきます。他の変化もつけましょう。

③ 点画の連続
行書の特徴の 3 番目です。「二」のような横線を連続では筆順を違えてリズムよく書きます。「川」のような同じものが連続するとき、後ほどつながりが強くなります。

元 人 川 生

硬筆の時代来る！ 事前添削指導コース新設

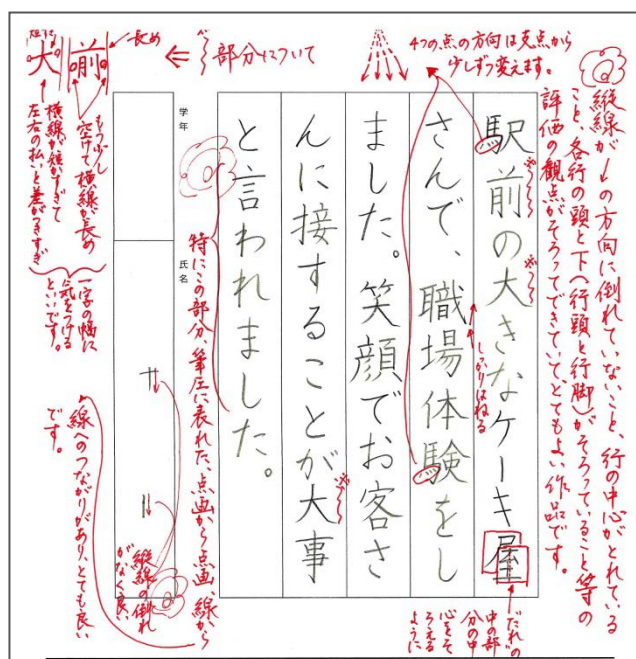
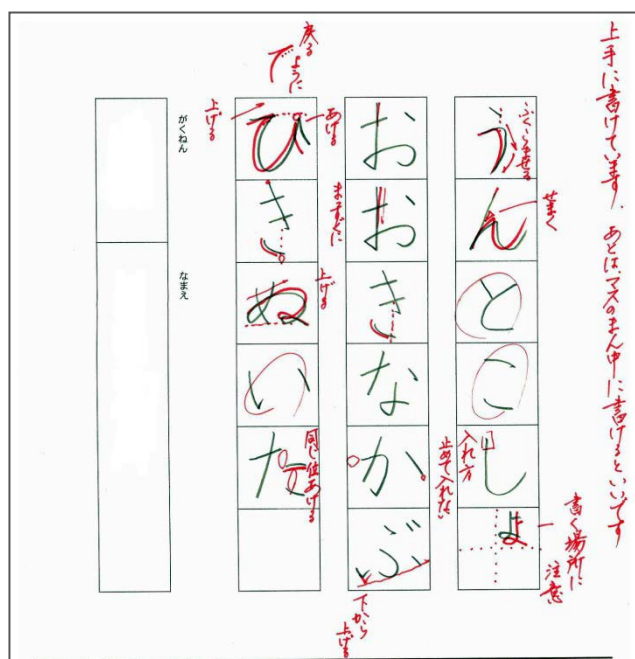
～検定前に課題を添削して返送～

高校指導要領の改訂で、小学校書写の勉強が高校まで続けられる運びとなりました。
“書写の延伸“です。この時を迎えて、書文協では硬筆の楷書、行書の検定2コース
(各120課題)を1本化し、草書も加えた硬筆課題検定(通称、新・硬筆検定、1
20課題)を始めました。(左ページの魅力ある新テキスト参照)これに伴い、検定
を受験する前に該当課題作品を書文協に提出、添削を受けてから検定受験する「添削
指導コース」をスタートさせました。

個人受験の方に最適。教場所属の生徒さんも、教場での学びの一環として指導の先生を通じて申し込んでください。

期間	2か月に2課題添削、2課題受験
月謝	1,620円(1,500円+消費税)。検定受験料含む。
初回教材費	テキスト代(616円)、練習用紙、検定受験用紙など1,912円。 テキストは8か月に1冊進むペースです。
入会金	2,160円
検定の評価	止め、はね、払いなど書写の基本ルールを50項目にまとめた「評価 の観点」(書文協制定)に基づき審査。可否を通知します。

(入会セットプレゼント) えんぴつ1本、硬筆マット、ソフトグリップ(鉛筆の握りを補強) シャープナー(削り器)、消しゴム



書文協の学びの特色

～生涯学習に伴走～

～入試・就職にも役立つ～

①成績証明書の発行

「続ける力」を証明します

検定成績

段級・ライセンス



大会成績

→

個人情報システム

⇒成績証明書

パソコン



学校・企業

書文協での全国検定・指導者ライセンス試験の成績、付与された段級・ライセンス(資格)、全国書写書道大会の成績は個人情報システムに記録保管され、本人の希望により、成績(履歴)証明書として発行されます(1枚2,160円、郵送料とも)。潜在力(ポテンシャルティ)として求められる「続ける力」を示すので、入試、就活の際の内申として高く評価されます。注目されるようになった授業外の独自活動を示すものともなります。個人情報は法規に基づき守られ、情報の入ったシステムは外界と遮断されたサーバーに保管されています。

②大会優秀者の顕彰依頼

書文協本部⇒ 依頼状 ⇒ 学校・教育委員会・自治体

(上位入賞者について)

「頑張ったね」



顕彰

本人

学校には教育特別奨励賞を除く特別賞(全体の約1%)、地教委、自治体には特別賞のうち上位3賞を連絡。顕彰規定に合えば、顕彰していただく。

幼稚園・保育園長

文字教育ご担当様

書文教は、毛筆だけでなく硬筆書写書道にも力をいれており、幼稚園・保育園の園児向け教材の開発にも力を入れています。また、7月末締め切りで小学3年生までに参加資格を限定した幼児のための「ひらがな・かきかたコンクール」（例年文部省等後援）を開催しています。お気軽にお問い合わせください。

ご案内

①園児向け硬筆テキスト

②ひらがな・かきかたコンクール

「はじめての えんぴつ れんしゅうちょう」

塗り絵もできる！級もとれます！

小さいうちに文字への興味・関心を育てるのは皆の願いです。園児らは、遊びの中から字も覚えていきます。まずは、ぐるぐる巻きなど線の引き方から始めましょう。正しい鉛筆の持ち方、姿勢の保ち方も大事です。そして、楽しいイラスト一杯の課題で言葉も覚えながら練習しましょう。

この本は、別紙で紹介しています「新・硬筆検定15巻シリーズ」テキストの姉妹編として作成されました。本を学んで検定を受けることもできます。検定で付与されるのは10級から10段まで。この本では8級まで取得することができます。

著者	大平 恵理
編集協力	書文協出版部
刊行	KADOKAWA (角川書店)
価格	1,026円
特別割引	今回のお知らせにご応募いただき、園で一括購入される時は、書文協にご連絡ください。



第8回総合大会

ひらがな・かきかたコンクール

別紙「書文協の主な事業」で紹介していますように、夏の全国書写書道総合大会の一環としてシングルエイジを対象にした硬筆による標記コンクールを開催しています。8年目を迎えます2019年度も文部科学省などの後援を得て、文部科学大臣賞から銅賞まで、全ての出品者に何らかの賞と副賞を授与する予定です。文字を書き始めた子供たちに自信を植え付けることを主眼に、小学3年生以下に参加資格を限定した大会です。

2019年度大会予定

締切 2019年7月26日(金)

審査結果発表 (2段階発表です)

- | | |
|------------|---------------|
| ① 本賞のみ | 8月末 賞状・賞品送付 |
| ② 特別賞・準特別賞 | 10月初旬 FAX通知 |
| | (賞状・副賞は11月初め) |

2段階発表 賞は文科大臣賞から特別教育奨励賞まで特別賞(全体の約1.5%)と準特別賞(優秀特選ベスト10)、本賞(特選、金・銀・銅賞=全出品者に授与)

- ③ 出品料 540円(団体)、1,620円(個人)

前回(第7回)記録

出品総数 7,018点

うち園児 2,659点 (年長園児からも文部科学大臣賞が出ました)

課題

年少・年中

年長

右図の参考手本は第7回(平成30年度)のものです。

第8回は4月末に発行予定です。

書文協への質問・ご意見

(FAX 03-6304-8213)

氏名	団体名
住所 〒	
電話	携帯
E-mail	
質問・ご意見	

ありがとうございました

書文協ホームページ <http://www.syobunkyo.org>

メール質問も ホームページにはメールでの問い合わせ欄もあります。